

令和元年度スマイルまつり「ミニずしシティ」開催概要 案

- 1 目 的 体験学習施設の利用対象である小学生、中高生に場を提供し、施設の周知、来館のきっかけづくりとなるよう、ミニずしシティとして子ども主体のイベントを開催する。

子どものアイデアを活かして、まちづくり体験の場を創出し、まちづくりの経験を通して、社会で求められる仲間とのコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、責任感、また、自分と異なる他者と強調する能力等を育むことを目的とする。

- 2 日 時 令和元年 10 月 26 日（土） 午前 10 時から午後 3 時まで

- 3 会 場 体験学習施設スマイル・スポーツルーム

- 4 参加者 約 600 人（見込み）

- 5 予 算 当初予算計上なし

- 6 内 容 ミニずしシティの開催に向けた講座に参加している子どもたちと話し合い、企画を練り、指導し、キット作成や当日の運営を含めた委託料を計上している。

委託予定先の NPO 法人は、平成 30 年度スマイルまつりにも協力を得た法人。その際は、同法人が県からの活動助成を得ていたため無償で協力を得られた。

*ミニずしシティとは、市内在住の 18 歳以下の子どもだけが市民になれば、職業体験ができるイベントとして体験学習施設スマイルが一日限定で、「ミニずしシティ」に変わるものです。

市民になると仕事を体験し、給料がもらえ、買い物ができる、小さなまちです。市民証申請書を出して市民になったら、「仕事」を探して働き、その対価として一日限定の「通貨」がもらえます。いわば、逗子スマイル版「キッザニア」のようなイメージで、稼いだ給料で遊んだり、買い物したりすることができるイベントとして実施します。







